

事業番号

0027

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人日本学生支援機構施設整備に必要な経費		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	学生・留学生課		学生・留学生課長 松尾 泰樹		
会計区分	一般会計		施策名	V-1 意欲・能力のある学生に対する奨学金事業の推進 XIV-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により災害を受けた独立行政法人日本学生支援機構が所有する仙台第一国際交流会館、東京国際交流館の復旧及び同機構の市谷事務所の耐震化工事に必要な経費について補助するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により災害を受けた独立行政法人日本学生支援機構が所有する仙台第一国際交流会館、東京国際交流館の復旧及び同機構の市谷事務所の耐震化工事に必要な経費について補助し(補助率:定額補助)、留学生が安心安全に使用できる元の状態に、早急に復旧するとともに、奨学金貸与事業に係る業務部門が配置されている同機構の市谷事務所において、職員の生命の安全を確保し、奨学金の貸与を継続的かつ安定的に実施するため、耐震化工事を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	545	
		補正予算	-	-	-	64		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	64	545	
	執行額		-	-	-			
	執行率(%)		-	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業は留学生が安心して居住できるよう、日本学生支援機構が保有する留学生宿舍の復旧及び同機構の市谷事務所の耐震化工事を実施するものであるため、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績	%				
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	工事箇所		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	(-) (2)
単位当たり コスト	32(百万円/箇所)		算出根拠	単位当たりコスト=23年度補正予算額(64百万円)/東日本大震災によって損傷した国際交流会館の箇所(2箇所)				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	日本学生支援機構施設整備補助金	-	545百万円	※市谷事務所の耐震化工事に伴う増				
				【うち東日本大震災復興関連事業 要求額545百万円】				
	計	-	545百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、東日本大震災等で災害を受けた独立行政法人日本学生支援機構が所有する国際交流会館等の復旧及び同機構の市谷事務所の耐震化工事に要する経費について補助を行い、留学生が安心安全に生活できる状態への早期復旧とともに、奨学金貸与事業に係る業務部門が配置されている同機構の市谷事務所において、職員の生命の安全を確保し、奨学金の貸与を継続的かつ安定的に実施するため、耐震化工事の実施が見込まれる。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に独立行政法人日本学生支援機構から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行う予定である。		
予算監視・効率化チームの所見			
	-	本事業は、執行面における課題もない。また、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

(注)当該資金の流れは、平成23年度補正予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

**文部科学省
64百万円**

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により災害を受けた独立行政法人日本学生支援機構が所有する仙台第一国際交流会館、東京国際交流館の復旧に必要な経費に対する補助

【補助金】

**A.独立行政法人日本学生支援機構
64百万円**

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により災害を受けた独立行政法人日本学生支援機構が所有する仙台第一国際交流会館、東京国際交流館の復旧に必要な経費について同法人に補助し、留学生が安心安全に使用できる元の状態に、早急に復旧する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.独立行政法人日本学生支援機構			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費	国際交流会館等の施設復旧	64			
	計		64	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0	
C.			G.			
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
計		0	計		0	